

# 松波小学校だより

第2号  
令和6年5月29日  
能登町立松波小学校

## 素晴らしい頑張り!最高でした!

季節が進むのはとても早く、もう梅雨のたよりを聞く季節となりました。4月は、授業参観・PTA 総会・学級懇談、5月には運動会など、学校行事へのご協力をいただき、ありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。

新学期スタートから2か月が経過しました。子どもたちの震災の心的影響は大丈夫だろうか?元気に登校してきてくれるだろうか...日々子どもたちの様子を注視しながらの新年度のスタートでした。子どもたちは、制約のある中での学校生活ではありますが、元気に明るく日々の学習・生活をおくってくれており安心しております。今後も文部科学省や県派遣のスクールカウンセラーの先生とも連携しながら、子どもたちを継続して見守っていきたいと思います。

新学期から子どもたちの素晴らしい姿が学校の随所で見られました。その中でも2つのご紹介します。

まず、運動会です。4月当初は、中学校で間借りをしている状態であり、日々の授業継続を最優先にしなければならない状況の中、また練習時間や練習場所は確保できるのかなど課題が山積している状態でした。しかし、子どもたちにとって大切な行事は実現していくとの確認のもと、松波中学校教職員、避難所に避難されている皆様のご理解、ご協力を得ることができ、PTA 役員・会員の皆様のご協力のもと無事開催することができました。本当にありがとうございました。

子どもたちにとっては、新しい学年・学級になってから1か月たたないうちに始まった運動会の練習でしたが、とても一生懸命頑張ってくれました。今年のスローガンは、「みんなに勇気と笑顔と感動を。そして力を。パワー!!!」でした。子どもたちは、どの競技においてもスタートから終了を告げるピストルが鳴るまで、また自分が目指すゴールテープを切るまで、あきらめることなく、頑張る姿をみせてくれました。特に、6年生は、各チームの下級生をリードしてくれました。また、準備から後片付け等、自分たちだけのことだけでなく全体のことを考え、協力し、行動してくれました。これらの子どもたちの姿は、保護者や地域の皆様方に感動や元気をお伝えできたのではないかと思います。



2つ目は、あいさつがより素晴らしくなったことです。本校児童のあいさつは昨年も良かったのですが、4月の生活目標の取り組みから、よりよいあいさつができるようになってきました。「立ち止まって」「語先後礼」「大きな声で」「笑顔で...」など各自が目標とするあいさつレベルを目指し頑張ってくれています。朝の玄関では、児童ひとりひとりが素晴らしいあいさつをしてくれるようになり、本当に嬉しいです!

1学期も、残り1か月半となりましたが、松波小学校の子どもたちの笑顔が更に増えるよう今後も継続してチーム学校で頑張っていきたいと思います。 校長 宮本 秀人